

平成 27 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 日創プロニティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 石田 徹
(コード：3440 福証 Q-Board)
問合せ先 取締役経営企画室長 西川 新二
(TEL 092-552-3749)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、平成 30 年の創業 40 周年にむけ、向こう 3 年間で上限 50 億円の M&A 及びアライアンスに係る戦略投資枠を設定した中期経営計画（平成 28 年 8 月期～平成 30 年 8 月期）を策定し、平成 27 年 10 月 13 日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画

(1) 位置づけ

「新たな企業ステージへのファーストステップ」

当社は、平成 30 年の創業 40 周年に向け、平成 30 年 8 月期（第 35 期）までの本中期経営計画を、「新たな企業ステージへのファーストステップ」と位置づけています。

(2) 概要

項 目	内 容
経 営 理 念	「加工価値」の創造による無限大の可能性を追求し続け、加工の総合企業を目指す。
ミ ッ シ ョ ン	「加工価値」の創造による社会貢献
ビ ジ ョ ン	加工業界のリーディングカンパニー
中期経営戦略	(1) M&Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大(事業の多角化) (2) 3年間で上限 50 億円の M&A 及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定 ～新たな企業ステージへの挑戦 Challenge the next stage 創業 40 周年に向けて～
持続的な成長のための経営課題	(1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立 (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮 (3) ステークホルダーに向き合う経営

2. 中期経営戦略

(1) M&Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）

金属加工業界のみならず、「加工」をキーワードにした事業分野や企業価値の向上を見込める事業分野の M&A とアライアンスの推進により、積極的に事業領域を拡大し事業の多角化を推進します。

(2) 3年間で上限 50 億円の M&A 及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定

企業経営の機動性を高めるため、3年間で上限 50 億円の戦略投資枠を設定しています。これにより、中期経営目標の達成を図り、新たな企業ステージのセカンドステップへつなげてまいります。

3. 持続的な成長のための経営課題

(1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立

- 当社が属する金属加工業界は、中・小規模の事業会社が大多数を占めており、それぞれが特定の加工分野における技術的な強みを有しています。しかし、一般的には、高い技術を有しながらも営業が手薄であることなどから、大手企業との間の下請け構造からは脱却できていないのが現状です。
- こうした金属加工業界の受け身の事業構造を変革するため、中・小規模の金属加工会社がそれぞれの強みを発揮しアライアンスを組むことによって、新たな製品ブランドの立ち上げを目指します。当社はその旗振り役を担うことによって、アライアンスで結ばれた加工業界の新たなビジネスモデルの実現に挑戦します。

(2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮

下記のとおり、各部門それぞれが旺盛なチャレンジ精神をもって課題に挑戦し、全社一丸となって新たな企業ステージを目指します。

営業部門：営業基盤の強化と新商品の開発・販売の強化

製造部門：生産効率の改善と製造原価の低減

品質管理部門：協力企業様との連携強化

管理部門：諸制度の改善と連結決算の確立

企画部門：トップマネジメントの補佐とステークホルダーの方々に向けた対応

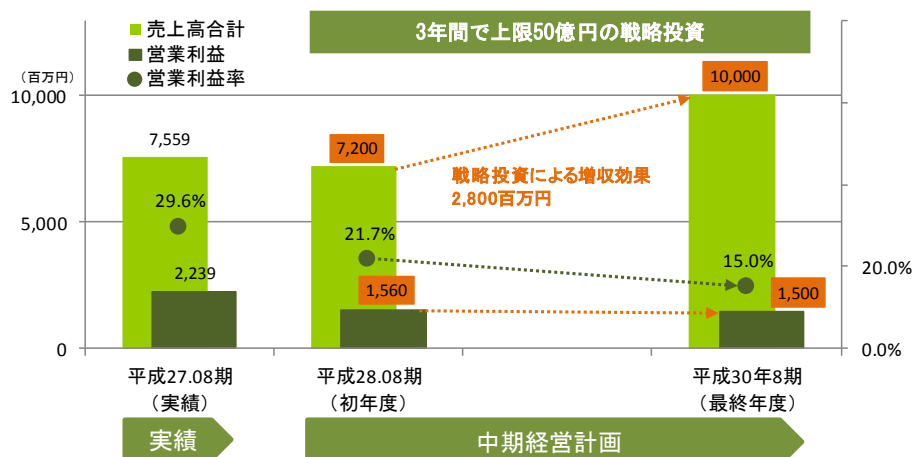
(3) ステークホルダーに向きあう経営

当社は、株主・投資家の皆様、お取引先企業、社員、地域社会等からの信頼に依っていくため、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化、適時開示の適切な実行等により、透明かつ健全で効率の高い経営を遂行してまいります。

4. 中期経営目標

当社は、向こう3年間で上限50億円の戦略投資を行い、M&Aやアライアンスによる事業領域の拡大（事業の多角化）を推進します。戦略投資による事業領域の拡大により本中期経営計画の最終年度である平成30年8月期の売上高を100億円、営業利益を15億円と設定しております。なお、営業利益率は2ケタを維持し15%と設定しております。

	平成27.08期 (実績)	平成28.08期 (初年度)	平成30年8期 (最終年度)	増減	増減率
売上高合計	7,559	7,200	10,000	2,800	38.9%
営業利益	2,239	1,560	1,500	-60	-3.8%
営業利益率	29.6%	21.7%	15.0%	-6.7p	-
当期純利益	1,407	1,015	983	-32	-3.2%
1株当たり当期純利益	193.50	142.51	138.53	-3.98	-2.8%

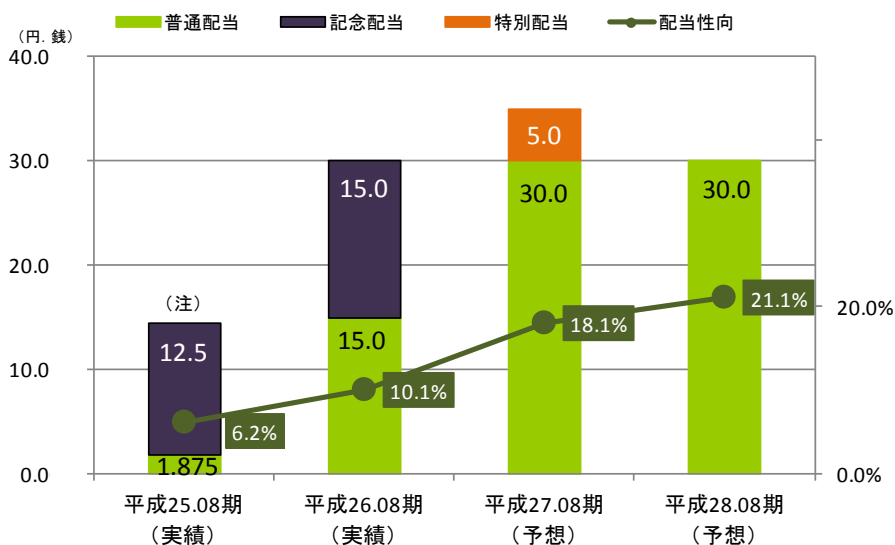


5. 配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行うことを配当に関する基本方針としております。この方針のもと、中期経営計画初年度の平成28年8月期における配当は以下のとおりとしております。

	平成25.08期 (実績)	平成26.08期 (実績)	平成27.08期 (予想)	平成28.08期 (予想)
特別配当	-	-	5.0	-
記念配当	12.5	15.0	-	-
普通配当	1.875	15.0	30.0	30.0
配当	14.375	30.0	35.0	30.0
配当性向	6.2%	10.1%	18.1%	21.1%

(注) 平成25.08期の配当は、平成26.08期における株式分割(4分割)を考慮して算定



※ 経営理念・ミッション・ビジョン

経営理念：「加工価値」の創造による無限大の可能性を追求し続け、加工の総合企業を目指す。

当社の事業の原点は、「加工価値」の創造をキーワードにしたモノづくりにあります。今後も夢を追求し、「加工価値」を創造し、社会に必要とされる加工の総合企業（事業の多角化）を目指す真摯な経営姿勢を経営理念で表明しております。

ミッション：「加工価値」の創造による社会貢献

「加工価値」の創造とは、お客様のニーズに応えお客様にとって価値ある製品を提供するだけでなく、当社自らが、社会に有用な需要を新たに創造していくことと定義し、当社は、こうした積極的な「加工価値」の創造を通じて社会に貢献することを使命としています。

ビジョン：加工業界のリーディングカンパニー

当社は、長期的なマネジメントの観点から、将来のあるべき姿（ビジョン）を「加工業界のリーディングカンパニー」としております。

以上

 日創プロニティ株式会社

中期経営計画（平成28年8月期～平成30年8月期）
～新たなステージへの挑戦 Challenge the next stage 創業40周年に向けて～

平成27年10月13日
代表取締役社長 石田 徹

目次

経営理念・ミッション・ビジョン	2
中期経営戦略	3
持続的な成長のための経営課題	4
中期経営目標	7
配当方針	8

経営理念・ミッション・ビジョン

経営理念

「加工価値」の創造による無限大の可能性を追求し続け、加工の総合企業を目指す。

当社の事業の原点は、「加工価値」の創造をキーワードにしたモノづくりにあります。今後も夢を追求し、「加工価値」を創造し、社会に必要とされる加工の総合企業(事業の多角化)を目指す真摯な経営姿勢を経営理念で表明しています。

ミッション

加工価値の創造による社会貢献

「加工価値」の創造とは、お客様のニーズに応えお客様にとって価値ある製品を提供するだけでなく、当社自らが、社会に有用な需要を新たに創造していくことと定義し、当社は、こうした積極的な「加工価値」の創造を通じて社会に貢献することを使命としています。

ビジョン

加工の業界のリーディングカンパニー

当社は、長期的なマネジメントの観点から、将来のあるべき姿(ビジョン)を「加工業界のリーディングカンパニー」としています。

中期経営戦略

中期経営戦略

- (1) M&Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大
(事業の多角化)
- (2) 3年間で上限50億円のM&A及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定
～新たなステージへの挑戦 challenge the next stage 創業40周年に向けて～

位置づけ

- 平成30年の創業40周年に向け、本中期経営計画を「新たな企業ステージへのファーストステップ」と位置付けています。

(1) M&Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大(事業の多角化)

- 金属加工業界のみならず、「加工」をキーワードにした事業分野や企業価値の向上を見込める事業分野のM&Aとアライアンスの推進により、積極的に事業領域を拡大し事業の多角化を推進します。

(2) 3年間で上限50億円のM&A及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定

- 企業経営の機動性を高めるため、3年間で上限50億円の戦略投資枠を設定しています。
これにより中期経営目標の達成を図り、新たな企業ステージのセカンドステップへつなげます。

持続的な成長のための経営課題

持続的な成長 のための経営 課題

- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

(1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立

●当社が属する金属加工業界は、中・小規模の事業会社が大多数を占めており、それぞれが特定の加工分野における技術的な強みを有しています。しかし、一般的には、高い技術を有しながらも営業が手薄であることなどから、大手企業との間の下請け構造からは脱却できていないのが現状です。

●こうした金属加工業界の受け身の事業構造を変革するため、中・小規模の金属加工会社がそれぞれの強みを発揮しアライアンスを組むことによって、新たな製品ブランドの立ち上げを目指します。当社はその旗振り役を担うことによって、アライアンスで結ばれた加工業界の新たなビジネスモデルの実現に挑戦します。

持続的な成長のための経営課題

持続的な成長 のための経営 課題

- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

(2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮

各部門それぞれが旺盛なチャレンジ精神をもって課題に挑戦し、全社一丸となって新たな企業ステージを目指します。

- 営業部門: 営業基盤の強化と新商品の開発・販売強化
- 製造部門: 生産効率の改善と製造原価の低減
- 品質管理部門: 協力企業様との連携強化
- 管理部門: 諸制度の改善と連結決算の確立
- 企画部門: トップマネジメントの補佐とステークホルダーの方々に向けた対応

持続的な成長のための経営課題

持続的な成長 のための経営 課題

- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

(3) ステークホルダーに向き合う経営

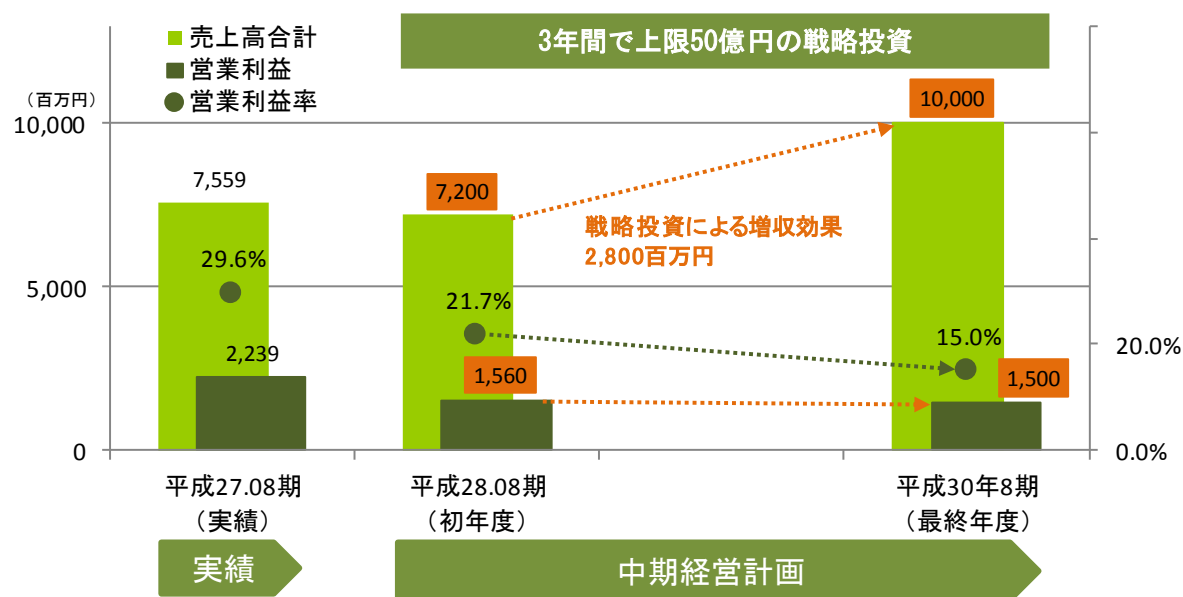
●株主・投資家の皆様、お取引先企業、社員、地域社会等からの信頼と期待に応えていくため、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化、適時開示の適切な実行等により、透明かつ健全で効率の高い経営を遂行します。

中期経営目標

(百万円・円)

中期 経営目標

	平成27.08期 (実績)	平成28.08期 (初年度)	平成30年8期 (最終年度)	増減	増減率
売上高合計	7,559	7,200	10,000	2,800	38.9%
営業利益	2,239	1,560	1,500	-60	-3.8%
営業利益率	29.6%	21.7%	15.0%	-6.7p	-
当期純利益	1,407	1,015	983	-32	-3.2%
1株当たり当期純利益	193.50	142.51	138.53	-3.98	-2.8%



- 向こう3年間で上限50億円の戦略投資を行い、M&Aやアライアンスによる事業領域の拡大(事業の多角化)を推進します。
- 戦略投資による事業領域の拡大により中期経営計画の最終年度である平成30年8月期の売上高を100億円、営業利益を15億円と設定しております。なお、営業利益率は2ケタを維持し15%と設定しております。

配当方針

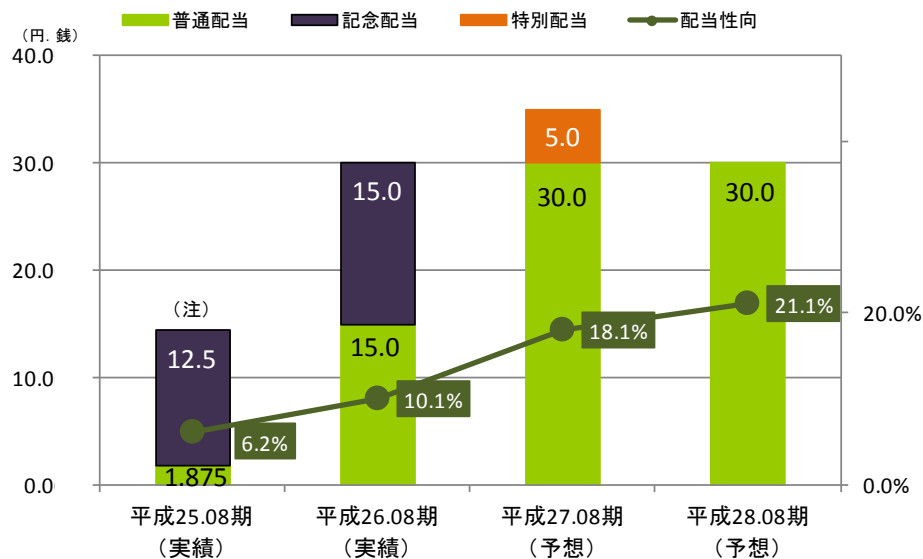
配当に関する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

(円・銭)

	平成25.08期 (実績)	平成26.08期 (実績)	平成27.08期 (予想)	平成28.08期 (予想)
特別配当	-	-	5.0	-
記念配当	12.5	15.0	-	-
普通配当	1.875	15.0	30.0	30.0
配当	14.375	30.0	35.0	30.0
配当性向	6.2%	10.1%	18.1%	21.1%

(注) 平成25.08期の配当は、平成26.08期における株式分割(4分割)を考慮して算定



お問い合わせ先・ご注意事項

お問い合わせ
先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-552-3749

<http://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

<ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。